

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	タクシー運転手	・12月は忘年会、1月は新年会等で動きが良くなる。
		商店街（代表者）	・年末の贈答果物が豊作のようで期待大である。引き続き大河ドラマの放映効果を期待している。
		百貨店（店長）	・今月は秋と冬のはざまととらえており、11月に入って一段と冷え込みが厳しくなると重衣料中心に動きが戻ってくると考えている。
		スーパー（店長）	・競合店開店の影響次第であるが、今が最低の状況なので、先行きはやや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・年末年始が来るので少しは良くなる。
		コンビニ（経営者）	・見切り品や処分品などがほぼ全部売れるようになっている。客の様子を見ていると、1日数回来店していた人が1回で済ませるなど、我慢しながら買物しているようである。天候にも左右され、台風の影響は大きかった。
		コンビニ（経営者）	・年末にはクリスマスケーキやおせち、年賀状関連を含めて売上が増えるので、今よりは多少業績は上がる。
		コンビニ（経営者）	・コンビニの景気が良くなったと感じるにはほど遠い気がするし、一般消費者が実感できるほどではないだろうが、先日の金融緩和策による円安、株高等、景気を支える政策により上昇傾向にあるのかと感じる。
		家電量販店（営業担当）	・冬の賞与が期待できるからである。
		乗用車販売店（経営者）	・発売が遅れていた新型車が数機種発売される。
	スナック（経営者）	・たまたま上向いてきているだけかもしれないが、何とかこのまま良くなってもらいたい。	
	スナック（経営者）	・11月の予約状況は前年より少し良くなっている。12月の予約も少しずつ入ってきているので、先行きは良くなると期待している。	
	観光型旅館（経営者）	・御嶽山噴火の影響も徐々に落ち着き、冬季は山登りの客もいないので例年並みに戻ると思われる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・あまり景気が良いとは言えないが、これから2～3か月後は忘年会、新年会の一番活気が出る時期に当たるので、売上も少しは良くなっていくのではないかと期待している。	
	旅行代理店（営業担当）	・年末年始の旅行需要が期待できる。	
	タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが少し良くなってきたので、この先も良くなると考えている。	
	通信会社（営業担当）	・季節要因として、年末商戦で一時的な消費改善があったとしても、前年を上回る傾向にはない。	
	遊園地（職員）	・夏季にオープンした新規アトラクションによる集客や、外国人観光客の継続的な増加により、今後も引き続き多くの客の来園を期待している。	
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街はイベント等で人を呼ぶが、客はあまり買物していない。単価の低い物が少々売れるだけ、市をやれば野菜等が売れるだけという状況は、この先もあまり変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・冬を控え季節商材、暖房対策も省エネ、エコを話題に売上を伸ばしたいところであるが、客が売る側の施策になかなか乗ってこない。使用できなくなって買い替えるならエコの商品をという意識はあるが、使える物は使うという意識を持つ客の方が多く、売上を伸ばすのは難しい。
一般小売店〔家電〕（経営者）		・少しずつは上向き加減だと感じられるが、核になるものがまだはつきりしてこない。	
百貨店（営業担当）		・地方においては消費税増税以来、物価の上昇が賃金の上昇を上回っている。消費に回るお金はまだ回復傾向にはないため、先行きが不安である。	
百貨店（販売促進担当）		・お歳暮ギフト、クリスマス等の年末商戦が始まるが、地方都市では冬期賞与増といったプラス与件も見込まれず、現状維持のトレンドが予想される。	
百貨店（販売促進担当）		・ボーナス商戦を迎えるが、期待できる要因があまり見当たらない。また、天候などの外的要因で売上が左右されることが予想できるため、今後も変わらない。	
百貨店（店長）		・消費税増税後の回復が遅い。	
スーパー（経営者）		・競合店との価格競争が続く。	
スーパー（総務担当）		・消費税10%の導入が結局どうなるのかによって変わってくる。10%への増税が決定的になれば悪くなる。	
スーパー（統括）		・今月に入り、円安の影響から燃料費や原材料の高騰を要因とする値上げの話が出始めてきたため、一部の年末商材の値上げは避けられない状況で、消費の冷え込みが懸念される。	

スーパー（商品部担当）	・地域における変化もなく、来客数の伸びは期待できない状況である。また、一部商品の値上がりがあり、客単価の変化も期待できない。
コンビニ（店長）	・今月は当店付近で歩行者天国を伴う町おこしのイベント等があり、知らない方々が結構多く街に来たが、既存の商店利用は意外に少なく、町おこしの商店への波及効果というのあまりなかった。各種イベントがあってもこの状態なので、3か月後は横ばいであれば良いと思わなければならないと思っている。
コンビニ（店長）	・店舗前の工事が終わるので、若干良くなる気もするが、今まで工事関係者が来店していたことも考えると、特別大きく変わっていくということはない。
衣料品専門店（統括）	・毎年この時期は秋のお祭りということで1年で一番多く客が来る時期である。なかなかこれだけでは景気の良し悪しを判断できないが、前年並みの状況である。客の様子では、職業によってある程度買い方が違うように感じられ、特に、建築、土木関係の仕事をしている人はいくらか買いっぴりが良いように感じる。今後はまた通常に戻るの、なかなか景気が良くなるというほどにはならない。
乗用車販売店（経営者）	・消費税が8%になって、その重さを実感している人も多く、10%に対する抵抗感も強いので、消費が更に落ち込むのではないか。
乗用車販売店（営業担当）	・このところずっと販売、サービス共に最低のラインできているが、周りの同業者で倒産するところも出てきている。何か工夫をしないと体力のない企業は今後継続していかない。
乗用車販売店（販売担当）	・販売台数が非常に悪い。新型車が出たり、いろいろとメーカー側も対策を打ってくれていて、これから良くなることもあると思うが、それより周りが落ち込んでいるので販売量は伸びないと考えている。
乗用車販売店（販売担当）	・年末にかけて、地元観光地のホテルの宿泊者が爆発的に増加するといったことでもない限り、今のところは良い要素が全く見当たらないので、2～3か月先も悪い状態のまま推移していく。
自動車備品販売店（経営者）	・消費税増税の影響で販売量などが低下したままなかなか浮上してこない。株なども連鎖反応があり、やはり株が下がるとう購買意欲も低下してくるので、自力で例年並みの売上に結び付けていくのは難しいが、手を打っていかねば先がないという状況である。
住関連専門店（経営者）	・アベノミクスが地方、あるいは庶民にまで及んできていないことを強く感じている。経営者の会合においても、地方中小企業等の末端まで届くような景気刺激策、社会政策が今のところ不在なのではないかと疑問を抱く人が多くなってきている。
住関連専門店（店長）	・雑貨を販売しているが来店客が増える要素がなく、販売単価も上がっていない。天候にもよるが景気は変わらない。
住関連専門店（仕入担当）	・次の消費税増税までは不安要素が消えず、消費環境は厳しい。
スナック（経営者）	・変わらないと回答したが地方は本当に良くない。これ以上悪くならないように変わらないで欲しいという意味での回答である。景気が良くなるような良い案があれば教えて欲しい。
都市型ホテル（営業担当）	・この先12月までは稼働が期待できると言いたいところだが、今月が例年どおりというところなので、2～3か月後もほぼ同じような推移になるのではないかとみている。
都市型ホテル（副支配人）	・ここまで好調を維持してきてはいるが、更に良くなるとは言いがたい。2～3か月先の年内まではほぼ現状の水準で推移するとみているが、年明けの動向に関しては不透明である。
旅行代理店（所長）	・引き続き景気上昇の期待感がなく、消費支出が増える見込みは薄い。
通信会社（局長）	・景気回復、消費拡大を期待しているが、これまでと状況が変わっておらず、変化の兆しもない。
テーマパーク（職員）	・前年に比べて連休が少ないことから、上向くことは難しいと思われる。
ゴルフ場（支配人）	・天候の安定するシーズンだが、予約は不安定で、特に曜日による差が大きい。また、予約時に顧客からの料金値引き要請が非常に多い。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上がほぼ同額で推移しているからである。
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・政治の混乱状況、世界情勢の混乱等、不安要素が多くあるため変わらない。
設計事務所（経営者）	・物件数は多く、今月と同じ状況が続くと見込まれる。

	設計事務所（所長）	・イベントなどで集客を増やし、今月の低迷から脱却したい。
	住宅販売会社（経営者）	・現状が悪いので、消費税増税が決定するような要因が見つければ良くなる気配があるが、その要因が見つからない。ただ、今以上に悪くはならない。
	住宅販売会社（経営者）	・大手の建設業者等の業績は良いようだが、当社のような小さなところにはちっとも引き合いがなく、まだ悪い方向ではないかと考えている。
やや悪くなる	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・ここ数か月、年金受給者の消費意欲の減退が目立ってきたように感じる。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・街の大企業の系列企業が年末までに1千人規模のリストラを始めるといことで、とにかく雰囲気が悪い。
	百貨店（店長）	・安価な商品を求める客が多く、3か月後はそれが加速する。都心では免税品、高額品が売れているが、地方の売上は依然低調であり、さらに商品値上げとガソリン高の継続により、景気はやや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・当店の2軒隣にファミリーレストランが来月中旬にオープンする。駐車場がかなり広く、集客力もありそうなので今後は悪くなる。
	衣料品専門店（販売担当）	・ここ数か月ずっと同じような客の反応、雰囲気が続いている。家庭を預かっている主婦が多いので、生活必需品の値上がりが続いている影響を受け、自分の衣類までは手が回らない、お金が回らないという様子である。この状況は今後もっと顕著になってくるので、本当に泥沼状態で手の打ちようがないと感じている。
	乗用車販売店（経営者）	・ワーキングプアが1,199万人になり、労働力人口の18%を超えたと報道されている。これではますます所得が減り、正規雇用の数が減っていってしまう。
	乗用車販売店（管理担当）	・4月の消費税増税の影響により、景気は後退している。また、今後の消費税増税がどうなるか皆動向をみている。今のまま増税が決定された場合、景気はさらに後退してしまう。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・家計の懐が厳しいのか、毎月の3千円以内の金額でもなかなか支払いができない客が増えてきている。
	一般レストラン（経営者）	・今後の消費税増税を心配している客が多い。
	一般レストラン（経営者）	・2020年のオリンピックの影響で東京はこれから一層活気あふれる街になっていくだろうが、一極集中が更に進むと地方は再生できず、衰退していく一方のような気がする。
	一般レストラン（経営者）	・夜の飲食にお金をかける消費者が本当に少ない。地域全体でも宴会は絞られているし、あっても物価高や消費税増税の関係から従来に増して低利益化してきている。
	旅行代理店（従業員）	・今後、更に消費税が上がると一層悪くなる。
	旅行代理店（副支店長）	・国内旅行は、新しいバス料金によるツアーの催行減や、団体旅行の減少が前年と比べて目立ち、今後の行楽シーズンの受注が懸念される。海外旅行は例年並みだが、年末年始の旅行受注が少ない。
	タクシー（役員）	・燃料価格と個人消費の動向による。
	通信会社（経営者）	・生活必需品の値上がりのほか、景気不透明感が増してきているため、消費意欲は低下していく。
	観光名所（職員）	・台湾などからのインバウンド客はますますの入込だが、国内のツアー客は減少気味で個人客も減少している。
	美容室（経営者）	・消費者はいつも頭に消費税増税のことがあり、節約志向が強くなっている。単価の高いパーマ等の美容施術を敬遠する傾向はこれからも続くので、売上はあまり伸びない方向にある。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・各テナント会の話においても、各店舗共に前年より予約が少なく、2～3か月前と比べても減っており、今後2～3か月前もまた減るとい予測を立てている。そのためやや悪くなると判断している。	
設計事務所（所長）	・この先オリンピックを控えて集中的な建築ブームがあるかもしれないが、今の様子だとそれによる建築費の高騰を受け、ますます建設意欲はしぼんでしまうのではないだろうか。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税、円安が消費への姿勢を慎重にさせているためである。	
悪くなる	商店街（代表者）	・客同士が会うと皆、景気が悪い、これからますます悪くなる、というような話が多い。確かに今の感じではこの先ますます苦しくなるのではないかという感じを受けている。

		一般小売店〔衣料〕 (経営者)	・地元では3億3千万円くらいのプレミアム付き商品券が完売となったが、どうもまだ使って買物をするという状況には至っていない。また、地元で駅伝やマラソンイベントが開催される予定だが、それに伴ういろんな諸品が出回ってこない。そのようなことを含めて考えると、先行きはあまり良くならない。
		家電量販店(店長)	・年末に向けて明るい材料が見当たらない。
		一般レストラン(経営者)	・同じ地域内の商店経営者と話をしても、客や通行人、売上の減少など、話題が共通で認識も一致しており、幅広い範囲で景気の減速感、あるいは景気後退への恐れが広がっているように感じられる。
		タクシー運転手	・午前中は車の数が少なく動きがあるが、午後から夜、深夜にかけての動きが悪い。夜のお店も閉店するところが増えてきている。
		通信会社(経営者)	・先行き不安からか、消費者の購買意欲が明らかに失せている。この上更なる消費税増税となれば、地方はますます厳しくなる。
		通信会社(経営者)	・良くなるような兆しは一切感じられない。
企業 動向 関連  (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕(経営者)	・工事中の発電所の連携が増えるためである。
	やや良くなる	食料品製造業(営業統括)	・各中小メーカー共にこのところ新酒販売が順調に推移しており、このままいくと平年を上回るかと期待している。
		化学工業(経営者)	・12月以降下期の納期の引き合い物件が受注となり、生産量、販売量共に増加が見込め、収支も上方改善できる目途が立ってきたからである。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	・季節的要因はあるが、例年に比べて多少動きが増えている。
		建設業(開発担当)	・現政権が安定しているおかげで公共工事は前年比13%増の発注状況である。当社は公共工事主体なので大変有難い。ただし、これまで不況業種でもあったので、企業体力が大変厳しい状況であるのも事実である。特に長年続いている若手作業員不足による作業員の高齢化が顕著である。また、建設資材の高騰も心配である。今後は企業体質の強化に努め、安定成長できる経営がより大切である。今後も政権が長期安定することを期待している。
		金融業(調査担当)	・製造業では米国を中心とした海外需要が底堅く推移するほか、建設工事も安定している。個人消費もこれ以上の落ち込みには至らないと思われるため、先行きはやや良くなる。
		司法書士	・ほんの少しずつ街の雰囲気そのものも良くなっているもので、やはり上向いていくと考えている。
		その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	・最近、引き合いが活発で商談件数が増加している。先行きの販売量の増加につながると考えている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業(経営者)	・今の受注は一時的なものなので、新商品、工芸体験教室の動きに期待したい。
		金属製品製造業(経営者)	・1年前と比べれば受注量は良くなっているが、まだ安定はしていない。先行きの見通しも立っていない。
		一般機械器具製造業(経営者)	・従来の取引先からの受注量は変わらないが、新規取引先との取引開始が2015年4月からとなり、それまでは横ばい状況が続く。
		一般機械器具製造業(経営者)	・中国市場向けの油圧ショベルは回復が見込めず、ベースとなる売上が確保できない厳しい状況が続く見込みである。
		電気機械器具製造業(経営者)	・現時点では業界の景気状況が不鮮明になっており、今後の動向が読みづらくなっている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	・受注量は安定しているが、受注額の内容は上向かず、厳しい状態が続いている。
		精密機械器具製造業(総務担当)	・受注件数、受注量の動向は今後も不透明であり、景気の良し悪しの判断にちゅうちょするが、しばらくは伸長が期待できず、低調に推移するものと考えている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・取引先が15社くらいあるので、2~3か月先は不透明である。とりあえずこの1年、受注量の少ない会社、多い会社、いろいろと取引しているが、これから2~3か月は仕事量の多い良い会社と取引して、やや良い状況でこの1年を締めくくようにはするが、先のことは全く分からない。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・更なる消費税増税実施への懸念で、国内自動車販売は停滞または悪くなると考えている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	・11、12月は催事やクリスマスセール等もあるので多少の改善は見込まれるが、1月は一層悪くなる。
		その他製造業〔消防用品〕(営業担当)	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業(総務担当)	・特に受注が上向くという予測はないので、このまま進行していく。

		輸送業（営業担当）	・年末に向かい、暖房器具や衣類、インテリア、雑貨などの物量は例年並みの確保を予定している。しかしながら運送会社等の協力会社の人材不足により車両確保が難しい状況も続いているため、今後は物量に対して対応が厳しくなりそうである。
		通信業（経営者）	・景気がすぐに変わる要素がない。
		金融業（経営企画担当）	・小売業においては、消費税増税の影響が薄れ、今後に期待する声が多い。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・11月に駅ビルの一部が新築オープンし、活況が期待されている。一方、対抗する形でそのオープン前に駅前百貨店も店内を改装したが、大きく目立った動きはないようである。
		経営コンサルタント	・消費財関連など、冬物需要、年末年始の各種行事を見込んでの期待感はあるが、実需の動きは鈍く、まだまだ油断できない。やや盛んであった郊外部の住宅建設が落ち着いている。企業の設備投資にさしたる動きはない。
		社会保険労務士	・以前は夏ごろには回復するという声が多かったが、原材料費等が値上がりしてきているため、このままずるずる悪くなるという声も少数だが出てきている。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・特に大きな案件もないので、大変厳しい状況になるのではないかと思っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自分も含めて収入が減ってくるとやはり消費しなくなるという感じで、どうも物を買わなくなってきつつある。受注があまり増えないのでちょっと悩んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・先行きへの明るい情報がない。
		金融業（役員）	・円安で仕入単価が上昇しており、原材料や原油、電気料金の値上がりにより製造原価も上がっているが、販売価格への転嫁は厳しいため、利幅が少なくなっている。市場のパイが少ないなかで価格競争が激化しているため、なかなか利ざやが取れない。
		広告代理店（営業担当）	・更なる消費税増税実施への懸念で、消費は縮小する。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・原料価格の見通しが見つからない。4月にも商品単価を上げたが、中小零細企業も売れなくなったとしても単価を上げていく方向で動かないことには本当に持たなくなる。原材料の高騰により今後はますます厳しくなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが、資金繰りが大変である。
		不動産業（管理担当）	・業務が増えても受注額を安くされ、資材の値上げの転嫁についても理解が得られないため、利益は更に減少する。
雇用 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	-	-
		人材派遣会社（経営者）	・小売では、食料品、衣料品の募集が若干増えてきている。製造業では自動車部品の交換等の需要からか、自動車や電機関係の募集が増加している。また、年末商戦に向けてデパート関係等の募集も始まると見込んでいる。買い控えをする消費者も多少増えていくと考えている。
		人材派遣会社（管理担当）	・冬のボーナス商戦により派遣人数が増加する。
	変わらない	人材派遣会社（支社長）	・引き続き販売職、サービス業などを中心に人材不足感が強く、店舗のマネージャーや本社の人事部より単価調査の電話が頻繁に入る。しかし、人がいなければマッチングが成立せず、問い合わせの数だけが増えるようになっている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・求人募集企業は多くあるものの正社員募集は少なく、パートやアルバイトの募集が多いため、正社員を希望する求職者に対しては厳しい。
		職業安定所（職員）	・大手製造業は利益が上がっているのかもしれないが、地元の下請、孫請企業はその恩恵を享受していないということである。県内にある大手メーカーは景気が良いと聞いているが、管内企業は影響を受けていない。
		職業安定所（職員）	・生産拠点を海外に移す企業が増加傾向にあり、円安の恩恵があまり受けられていない企業がほとんどであるため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・今月は求人の伸びが鈍化した一方、新規求職者の伸びが目立った。産業別では人手不足分野である建設業は引き続き高い求人の伸びを示し、製造業でも求人の伸びが高まっている。ただし好転するような要素は見当たらないので、今後の動向は依然不透明である。
		職業安定所（職員）	・景気が良いとする企業と、そうでないとする企業にばらつきがあるが、全体としては変わらない。

	民間職業紹介機関（経営者）	・ 求人をけん引する製造業において、一部の大手企業は業績が良く求人も増えているが、その他の企業は直近の受注量は増えているものの先行き不安が大きく、求人はパートや契約、派遣に頼り、正社員採用へは大変慎重である姿勢を崩していない。
	学校 [ 専門学校 ]（副校長）	・ 高校生の求人状況は良いが、大学生等が就職活動をしているので、まだまだ求人市場は厳しい。また、企業も自社に合う学生を探している状況が感じ取れる。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ 収入が増えないため、消費意欲がわからない。
悪くなる	-	-